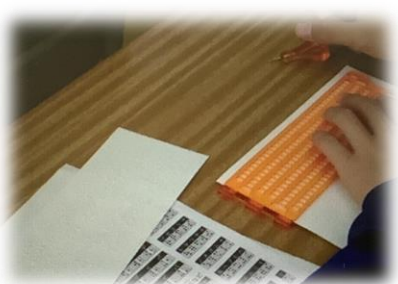


小 松 中 学 校



2月16日(金)の3・4校時にボランティア・地域貢献センターのご協力をいただき、第2学年を対象に車いす、アイマスク・ガイドヘルプ体験、点字体験を行いました。生徒は3つの体験のうち、それぞれ2つを体験しました。これは進路学習の一環として福祉についての理解を深めることを目的として総合的な学習の時間に実施しました。以下は生徒の感想の一部です。

点字体験の感想より

身近にある物にも点字があり、目が見えていなくても分かるように目印が付いていることを知りました。他にも、点字の基本や、打ち方、読む面と書く面など理解することができました。この機会ですんだことを将来に少しでも生かせたらいいなと思いました。

アイマスク体験の感想より

目かくしをして見えない状態で歩くのは少し怖かったけど、補助の人がいると安心できました。もし、白杖を上にあげている人がいたら、助けてあげたいと思いました。

車椅子体験の感想より

車いすは普段は体験できないので、使い方なども学べて良かったです。車いすのイメージはただ座って、もう1人が押すだけで簡単だと思っていましたが、実際はブレーキなどもあって知らずにやっていたら、怪我をしていたかもしれないので学べて良かったです。また、段差がとても大変であることを知りました。道には沢山段差があって大変だと思うので、見かけたら助けたいです。